

高田馬場駅周辺エリアまちづくり検討委員会（第3回）

議 事 概 要

1 日 時

令和4年5月13日（金）9時30分～10時30分

2 場 所

新宿スポーツセンター2階 大会議室

3 議 事

- (1) 検討委員会の設置要綱及び委員名簿の改正について
- (2) まちづくり方針策定までの進め方(案)について
- (3) 意見募集等の結果について
- (4) (仮称)高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針(案)について
- (5) (仮称)高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針策定後の進め方(案)について
事務局より議事について説明し、議論を行った。主な意見は以下のとおり。

(1) 検討委員会の設置要綱及び委員名簿の改正について

○特になし。案のとおり改正。

(2) まちづくり方針策定までの進め方(案)について

○特になし。

(3) 意見募集等について

○特になし。

(4) (仮称)高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針(案)について

○特になし。

(5) (仮称)高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針策定後の進め方(案)について

○まちづくりの動きは止まることがない。土地利用の変化や、個別の計画が出てくる中で、交通との整合性を取る必要がある。

○まちづくり方針が策定され、具体的に検討を進めていく上で、交通上の問題だけを解決していくのではなく、まちの将来像を考え、高田馬場が持つ文化やローカリティ、アイデンティティ

を踏まえた議論も必要である。

- 高田馬場には様々な人がいる。多様な人が一緒にいることで、より新しい高田馬場の豊かな魅力が生まれてくるような場所、空間あるいは交通結節点の在り方を議論する必要がある。
- 東西を繋ぐ通路や新たな改札口を整備するには、東口の再開発と連携をとりながら進めていく必要がある。鉄道事業者の協力を得ながら進めていく必要がある。
- まちづくりを進める上で、将来を見据えた交通結節機能や駐輪場、周辺交通の変化等について検討を進める必要がある。
- 東口再開発はトリガーとなり、周辺の駅や西口への波及効果が求められるため、今後の推進検討委員会における議論に期待する。
- 駅のバリアフリー機能改善や、鉄道間の乗換え改善等の地元意見について再度認識した。高田馬場のまちの魅力向上を通じ、来街者が増えることを期待し、今後も協力していきたい。
- まちづくり方針に記載の「まちの将来像イメージ」の内容を実現するためには、今後、関係機関と具体的に協議・調整を行う必要がある。
- 駅周辺の駐車場をどのようなルールで整備していくか、まだ議論が残っている。駅周辺の大規模開発に後れを取らないよう検討を進めていく必要がある。
- 駅周辺の大規模開発の際に、周辺の教育施設との連携も検討すると望ましく、これらを東側ゾーンだけではなく、周辺の大規模開発と連携し、駅とまちが一体となったまちづくりを進める必要がある。
- 今回のまちづくり方針が広く周知されることにより、高田馬場の将来性に期待をしてくれている民間デベロッパーや地元の方々の期待が高まると良い。

以 上